

press release

# 朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

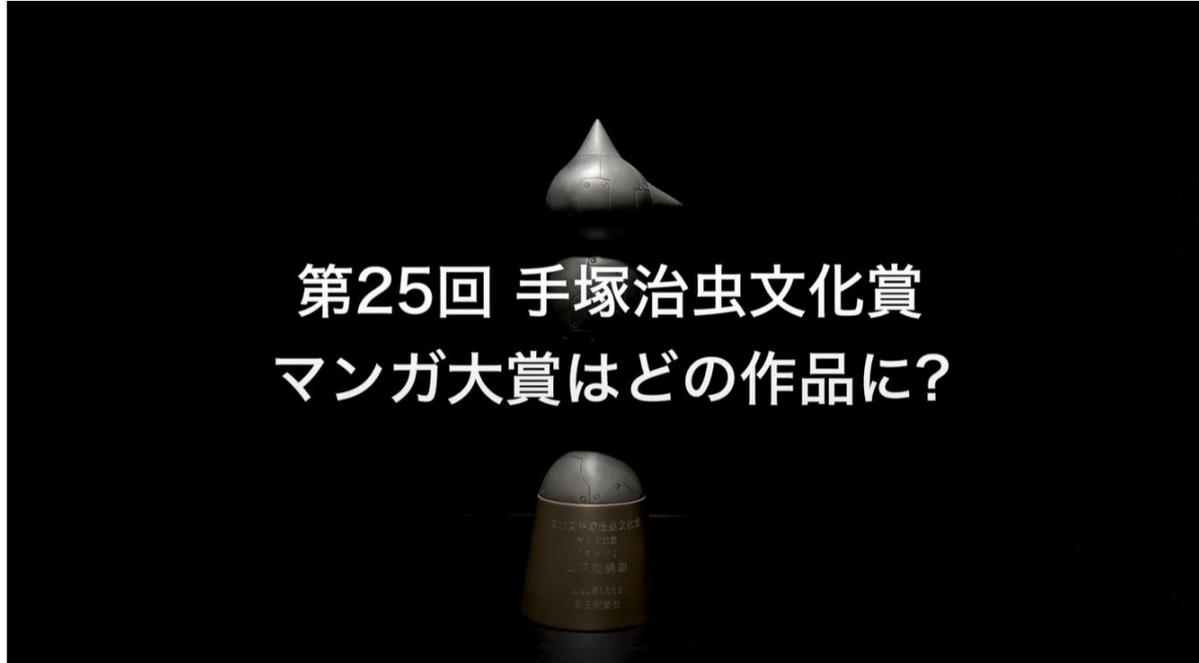
〈報道関係のみなさま〉

第25回手塚治虫文化賞

## 受賞記念動画と記者イベントを無料公開

抽選で25名様に記念小冊子&amp;ブラック・ジャックのピンバッジをプレゼント

株式会社朝日新聞社(代表取締役社長:中村史郎)は、「第25回手塚治虫文化賞」の受賞記念動画と、記者イベント「白熱の最終選考会を振り返る!」を6月25日(金)に公開しました。いずれも無料で視聴できますが、記者イベントは朝日新聞デジタルの会員登録が必要です。記者イベント視聴後、アンケートに回答された方の中から抽選で25名の方に、第25回の記念小冊子と記念ピンバッジ(ブラック・ジャック)をセットでプレゼントします。

©手塚プロダクション  
主催:朝日新聞社

受賞記念動画は本社が運営する動画メディア「bouncy(バウンシー)」が制作を担当し、6月3日(木)に朝日新聞東京本社で開催した贈呈式の受賞シーンや受賞の言葉、マンガ大賞の山下和美さんらの仕事場での様子などを収めています。

&gt;

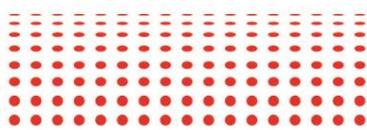
contact

〈お問い合わせ〉

朝日新聞社CSR推進部内

手塚治虫文化賞事務局

[tezukaprize@asahi.com](mailto:tezukaprize@asahi.com)



press release

# 朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

記者イベントは、第25回の選考委員を務めた里中満智子さん、中条省平さん、矢部太郎さんと、朝日新聞東京本社文化くらし報道部の小原篤記者とで、白熱の議論が交わされた最終選考会の様子を振り返ります。

<公開日時> 2021年6月25日(金)午前9時～(記者イベントは2カ月限定公開)

<公開場所>

●受賞記念動画

→手塚治虫文化賞公式サイト(<https://www.asahi.com/corporate/award/tezuka/14374617>)

●記者イベント「白熱の最終選考会を振り返る！ 第25回手塚治虫文化賞」

→応募ページ(<http://t.asahi.com/wkcc>)から申し込まれた方に、メールで視聴のご案内をお送りします。

申し込みは公開最終日の8月25日(水)午後10時まで。プレゼントの当選発表は発送をもって代えさせていただきます。

里中満智子委員×中条省平委員×矢部太郎委員 白熱の最終選考会を振り返る！  
限定公開中 視聴申し込みはこちらから



&gt;



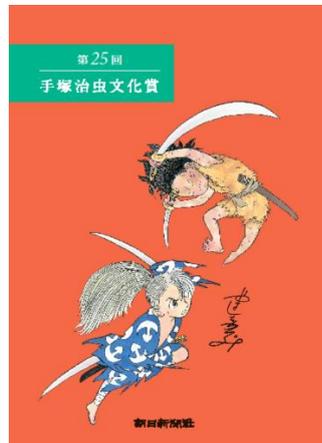
<お問い合わせ>  
朝日新聞社CSR推進部内  
手塚治虫文化賞事務局  
[tezukaprize@asahi.com](mailto:tezukaprize@asahi.com)



press release

# 朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2



記念小冊子



記念ピンバッジ

## ◇第25回手塚治虫文化賞受賞者

マンガ大賞 『ランド』（講談社）山下 和美

新生賞 原作：山田 鐘人 作画：アベ ツカサ

『葬送のフリーレン』（小学館）でファンタジー世界の冒険を独自の視点から描いたことに対して

短編賞 野原 広子

『消えたママ友』（KADOKAWA）と『妻が口をきいてくれません』（集英社）に対して

特別賞 吾峠 呼世晴 『鬼滅の刃』（集英社）

幅広いファンを獲得し社会現象を巻き起こした作品の力に対して

## 【手塚治虫文化賞】

日本のマンガ文化の発展、向上に大きな役割を果たした手塚治虫氏の業績を記念し、志を継いでマンガ文化の健全な発展に寄与することを目的に、朝日新聞社が1997年に創設しました。年間を通じて最も優れた作品に贈る「マンガ大賞」のほか、「新生賞」（斬新な表現、画期的なテーマなど清新な才能の作者）、「短編賞」（短編、4コマ、1コマなどを対象に作品・作者）、「特別賞」（マンガ文化の発展に寄与した個人・団体）があり、正賞の鉄腕アトム像（横山宏氏作）＝写真＝と副賞（大賞200万円、その他100万円）が贈られます。



&gt;



〈お問い合わせ〉

朝日新聞社CSR推進部内

手塚治虫文化賞事務局

[tezukaprize@asahi.com](mailto:tezukaprize@asahi.com)